

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	しいのみクラブ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・主活動を集団とすることで、仲間との絆を育みが期待でき、学校とはまた違うなじみのメンバーの中、放課後を楽しみながら安心して過ごすことが出来る場所を提供しています。	・昨年度から他事業所との交流を子ども中心で企画、実行しています。 ・作品展等の行事は、内容を子どもたちと一緒に考え、取り組みながら、仲間と一緒に自ら作り上げた達成感を味わう場としています。	・作品展等の行事は、実行委員会を立ち上げる等、自分達で話し合う機会を作ります。また、話し合いの中で、相手の意見を聞くことや、折り合いを付けながら内容を決定、実行していく経験をしています。
2	・集団活動を通じて、人間関係や社会性を養うことが期待されます。また、長期休業中の所外活動を通じて、公共の場所での過ごし方やルールを学びながら、自立に繋がる支援をしています。	・見通しを持って所外活動が出来るよう事前学習をしています。また子どもによっては安心して活動出来るよう、個別に話し合い、納得して取り組むことで成功体験を増やしていきます。	・活動の中に買い物を組み込んだり、公共交通機関や商業施設を利用しながら、公共の場での他者との関わり方を学んでいきます。
3	・できる限り保護者の要望に応えながら、ご家族に寄り添った支援をしています。	・保護者の要望は迅速に対応します。要望に応える事が難しい場合は、代替案を提案する等、ご家族に寄り添う事ができるよう努めています。	・今後も情報交換を密にしながら、事業所と保護者間の信頼関係を築くことができるよう努めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所の建物の年数が経っており、傾斜の急な階段や段差など、バリアフリーの難しさがあります。	1階フロアはリフォームによりフラットであるが、階段昇降の際は、子どもによっては安全確保の為、職員が付き添っています。	活動内容によっては公民館などの公共施設や公園を利用し、安全に活動することが出来るよう工夫をしていきます。
2	・保護者同士の交流の場が少ないと感じていること。	・年1回の保護者会と行事ごとの参観の場以外には交流の場を設けられていないのが、保護者にとっては少ないと感じられたのかもかもしれません。	・夏休み等長期休業中の活動で、保護者参加型の活動を計画したり、茶話会等保護者同士が交流できる場を検討していきます。
3	・災害時マニュアルが周知されていないと保護者が感じていること。	・事業所内では確認出来ていることが保護者に周知できておらず、不安に感じさせてしまったのだと思います。	・年度初めに災害時の避難場所や連絡方法を改めて周知し、安心して利用していただけるよう努めていきます。